

学校名 羽生市立川俣小学校

所在地 埼玉県羽生市本川俣6 2 9 番地

電話 048-561-1006

1 本校の概要

本校は、児童数95名、7学級の小規模校である。明治19年に開校した歴史と伝統のある学校で、江戸時代から、地区の平安を祈りながら家々を回った「まわり地蔵」が260年以上も続いている地域である。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- 各教科等における学習に結び付けた取組
- 司書教諭、学校司書などを活用した取組
- 学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

ア 県立図書館・市立図書館との連携

- 県立図書館、市立図書館から、教科学習や行事等で必要となる資料のレファレンス、学習支援セットや図書の団体貸出、ブックトーク等で授業支援を受けている。また、授業後、各図書館に児童の感想等を送付している。



「ブックトーク」



「探究学習での活用」

イ 学校司書による授業

- 学校司書が、年度当初に全学年に対して、学校図書館の利用の仕方や本の探し方などについての授業を行っている。
- 3年生の国語「図書館たんていだん」の学習で、本の分類の仕方について学習した。図書館地図を用意し、児童が調べ学習に取り組んだ。



「学校司書による授業」



「日本十進分類法の学習」

ウ テーマ・季節に応じた展示の工夫

- 各教科等に関連したテーマ展示のコーナーを設けている。下の写真は、地球儀と共に世界の民話について取り上げた展示を行ったときのもの。
- 季節の行事に合わせてテーマを入れ替えている。12月は、大そうじをテーマに展示をした。



「テーマ：世界一周」



「テーマ：大そうじ」

エ 図書委員会～じゃんけんフェス～

- 図書委員が考案した「じゃんけんフェス」を実施した。図書委員に勝つと、「2冊貸出券」がもらえ、児童には、好評だった。



「じゃんけんの様子」



「じゃんけんフェスのポスター」

オ 職員室～川カフェ文庫～

- 職員一人1冊、自分のおすすめの本を職員室後方の「川カフェ文庫」に置く。
- 職員同士、読書に親しめる環境を整えている。



「川カフェ文庫」



「職員おすすめの本の展示」

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- 年間を通した学校図書館の環境整備や図書委員が企画した様々な図書の取組を行うことで、来室児童数や貸出冊数が増えた。
- 本に親しみ、授業等において児童自ら課題解決のために学校図書館を利用する習慣が身に付いてきた。

(2) 課題

- 継続して本に親しむ態度を身に付ける。

(3) おわりに

今後も、学習等に幅広く読書に関連付けた取組を行い、児童の読書への意欲を喚起するようにしたい。